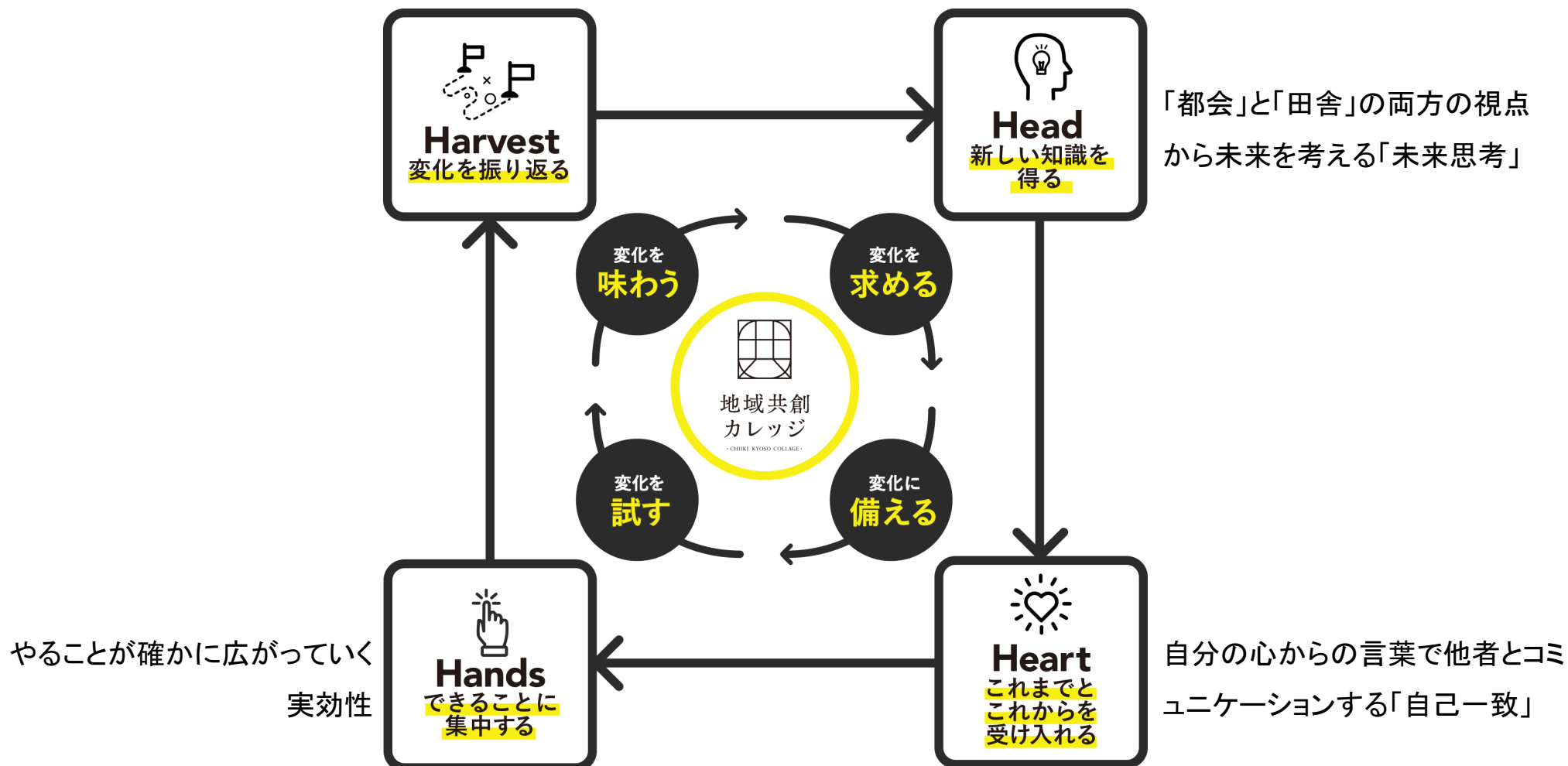
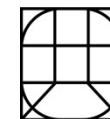


目的	新しい共創モデルを創れる人材を育む
3ヶ月の ゴール	<p>自分の身近な問題意識から小さなプロジェクトをはじめると、思いがけず周りの人が<u>関わってくれる</u>、ことを実感する</p> <p>* <u>関わってくれる</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• アイデアを受け入れてくれる</li><li>• 手伝ってくれる</li><li>• 参加してくれる</li><li>• 人を繋げてくれる</li><li>• 場所・道具を提供してくれる</li><li>• 次の大きなプロジェクトと一緒に創ってくれる</li></ul>
人数	10名～16名 Next Commons Lab 経由での地域参加を含む

“共創モデル”を知り・取り組み・味わいながら、3ヶ月のプログラムで学び、  
プログラム修了後に、それぞれの取り組みの中で再現するための土台を築く。



# 地域共創カレッジ | スケジュール(予定)



地域共創  
カレッジ  
・CHIKI KYOSO COLLEGE・

日程	要素	内容	目標	ゲスト
5/8	オープニング	カレッジの目指すもの、進み方、ホームグループづくり	カレッジへの参加モチベーションを整える	-
5/15	マイプロ共有	マイプロの共有	参加者と知り合い、マイプロ設定の難しさを共有する	-
5/22	マイプロme探求	Meを探ると「私-仕事-世の中」が繋がり、他者に繋がることを実感	Meを探求するための相互の関わり方を高める	TBD
5/29	相互フィードバック	4人一組でお互いのマイプロ(特にMe)を共有&フィードバック	相互理解、Me編のブラッシュアップさせる	-
6/5	地域ゲストの刺激	マイプロのシナリオになぞらえて、地域での活動を共有	上手くいくイメージ・シナリオを膨らませる	地域講師
6/12	相互フィードバック	4人一組でお互いのマイプロ(特にMe)を共有&フィードバック	相互理解、Me編のブラッシュアップさせる	-
6/19	システム思考	システム思考を学び、自分のPJTの位置づけ・今後の展開を考える	現在置かれている状況(地域)の繋がりを俯瞰する	TBD
6/26	PJTの後押し	早く試していい失敗をする/身体知を大切にする、を実感	とりあえず、やってみようという気持ちを高める	TBD
7/3	地域ゲストの刺激	マイプロのシナリオになぞらえて、地域での活動を共有	上手くいくイメージ・シナリオを膨らませる	地域講師
7/10	失敗の祝福(前半)	マイプロ(特にPJT)を共有&フィードバック	失敗をナイスライとして捉えそこから学ぶ	-
7/17	失敗の祝福(後半)	マイプロ(特にPJT)を共有&フィードバック	失敗をナイスライとして捉えそこから学ぶ	-
7/24	クロージング	自分の言葉で、共感の仲間をつくるープレゼン交換	3ヶ月間の変化、その要因を言葉にする	-